

VII. 地方創生関連交付金事業の実施結果

地方創生関連交付金事業の実施結果

(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

目標値 ≤ 実績値 ……「達成」
 目標値 > 実績値 ……「未達成」
 ※2019年度末までの累計

○地方創生推進交付金

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	最終年度(年)の目標			2019(R1)年度(年)の状況			今後の取組の方向性、 未達成の理由等
				年度 (年)	目標値	単位	目標値 (2019累計)	実績値	達成・ 未達成	
1	『信州型ユニバーサルツーリズム』推進による稼ぐ観光地域づくり	5,655,887	本事業におけるユニバーサルツーリズム来訪者数	2021	350	人	50	71,742	達成	・ユニバーサルツーリズムの来訪者数や対応する地域数は、着実に増加しているため、引き続き、観光地域づくりの推進に取り組みます。 ・ユニバーサルツーリズムに係る専門人材については、2020年度から信州大学と連携し、実務的な対応が可能な人材を養成する講座を開講し、専門人材を増やす取組を進めます。
			県内のユニバーサルツーリズムに係る専門人材数	2021	120	人	30	152	達成	
			県内のユニバーサルツーリズムに対応する地域数	2021	5	地域	1	4	達成	
2	ICT等の先端技術とSDGsを活用したクリエイティブな産業創造事業	55,725,823	「製造業の従業員」一人当たり付加価値額	2021	229	万円/人	71	50	未達成	【商工業】 初年度は「AI・IoT等先端技術活用支援拠点」の設置等の体制整備や、セミナーを通じた普及啓発を行ったが、県内企業への普及は十分に進まず、付加価値額は向上したものの目標は達成することができませんでした。今後は、コーディネーターによる個々の事業者支援や、ワークショップの実施等により、成功事例の創出と事例の発信を進めます。 【農業】 (単位面積当たり生産性) CSF(豚熱)や令和元年東日本台風など相次ぐ災害の発生により農業産出額が減少したため、目標を達成することが出来なかった。今後は国や県の補助制度を十分活用し、被災した農業者を支援するとともにスマート農業の導入加速化を進めることにより、単位面積当たり生産性の向上を図ります。 (水田農業経営体数) 水田センサー等のICT等技術のお試し導入、研修会の開催等により、効率的な水田農業経営を行う経営体数の目標を達成しました。今後も担い手及び高齢化による労働力の不足や高位安定生産に対応するため、機器のお試し導入等により農業のICT等技術の普及拡大を実施します。 【SDGs】 説明会等の継続的なPRと全県的なSDGs推進の機運醸成により、大幅に目標を達成することができました。今後も登録後の企業間の交流機会の創出等、ニーズを汲みながら支援を行っていきます。
			農業の単位面積当たり生産性(所得)	2021	8	万円/ha	3	-2	未達成	
			効率的な水田農業経営を行う経営体数	2021	94	経営体	32	46	達成	
			SDGs推進企業応援制度(仮称)への登録企業数	2021	50	社	10	232	達成	

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	最終年度(年)の目標			2019(R1)年度(年)の状況			今後の取組の方向性、 未達成の理由等
				年度 (年)	目標値	単位	目標値 (2019累計)	実績値	達成・ 未達成	
3	つながり人口の拡大と「プチ農業」の普及による信州創生人材創出事業	15,251,000	継続的に地域に関わるつながり人口の数	2021	200	人	50	36	未達成	つながり人口の数は、プログラムの参加者数を把握することができたが、二次的つながり人口(その周りの人たち)の把握ができず、統計上目標を達成することができませんでした。移住者数についても、行政サポートによる数は増えているものの、市町村窓口による捕捉が伸び悩み、統計上目標を達成することができませんでした。今後は、農業・農村をはじめとする地域へ多様な人材を呼び込み、地域活性化や農ある暮らしの実践者を増やす取組を引き続き進めていくとともに、つながり人口や移住者の捕捉を確実にいきます。
			プチ農業体験相談センター等の相談・研修により開始した市町村でのプチ農業実践者	2021	200	人	0	210	達成	
			移住者数	2021	892	人	692	415	未達成	
4	学生インターンシップ及び職業体験の強化による人材育成・定着事業	21,545,127	県内大学卒業者の県内就職率(県内大学を卒業し、就職した者のうち、県内就職者が占める割合)	2021	12.1	%	8.9	1.7	未達成	県内大学卒業者の県内就職率は、県外大企業の新卒採用が堅調であり、中小企業の多い県内企業の魅力を十分に伝えることができず、未達成となりました。県内大学生のインターンシップ参加率は、インターンに力を入れる大学及び企業が増加していることから上昇傾向にあるものの、大学を介さずに民間企業が主催するものに参加するカウント外の学生も相当数いることから、目標には今一歩届きませんでした。今後は、産学官が一層連携し、より多くの学生が県内企業の魅力に触れる機会を創出することにより、県内定着を推進していきます。
			Uターン就職率(県外に進学した長野県内企業に就職した割合)	2021	5.5	%	3.0	0.0	—	
			県内大学生のインターンシップ参加率	2021	14.0	%	9.1	8.2	未達成	
			「はたらキッズ信州」事業への参加者組数(親子で1組単位)	2021	1,100	件	700	765	達成	
5	「働きたい」をかなえる柔軟な働き方普及促進事業	48,348,957	職場いきいきアドバンスカンパニー認証企業数	2021	66	社	22	13	未達成	職場いきいきアドバンスカンパニー認証は、アドバイザーの企業訪問により比較的規模の大きい企業は認証が進み、制度利用社員数は大きく目標値を上回りました。しかし、小規模事業所等、制度の対象社員がいないことで認証要件を満たせない企業があり、認証企業数は目標値に達しませんでした。業務受注したテレワーカーの割合については、企業とのマッチング期間が十分に確保できず目標値を達成できませんでした。今後は、認証制度を改正し、企業規模に関わらず働き方改革や多様な人材の雇用・登用が進んでいる企業を認証する制度にすることで認証企業を増やし、誰もが自らの能力を発揮できる職場環境づくりを促進していきます。
			職場いきいきアドバンスカンパニー認証企業における多様な働き方制度の利用社員数	2021	1,140	人	380	703	達成	
			職場環境改善アドバイザーによる訪問支援企業数	2021	7,500	社	2,500	2,588	達成	
			テレワーカー養成講座修了者数のうち、実際に企業からの業務受注につながったテレワーカーの割合	2021	90	%	80	72	未達成	

No	交付対象事業の 名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	最終年度(年)の目標			2019(R1)年度(年)の状況			今後の取組の方向性、 未達成の理由等
				年度 (年)	目標値	単位	目標値 (2019累計)	実績値	達成 ・ 未達成	
6	ベンチャー・エコシステムの構築に向けたスタートアップ支援事業	9,806,020	開業率(雇用保険事業年報)	2021	1.71	%	0.57	0.00	実績値なし	高校卒業から新卒に該当する10代後半～20代前半にかける転出が多く社会増がKPIを下回りました。今後、令和2年度に開設した新たな創業支援拠点における移住者向けセミナー等を通して、UIJターン起業を促進し、社会増につなげます。また、創業支援拠点の支援により「新たな価値を創造する創業」を促進し、若者にとっても魅力的な企業を増やしていきます。
			労働生産性	2021	243.6	千円/人	81.2	0.00	実績値なし	
			社会増(転入者数-転出者数)	2021	1,039.8	人	346.6	-1798	未達成	
			アクセラレーションプログラム参加企業のうち、新たな資金調達や販路開拓等の実績が生まれた企業	2021	15	社	4	5	達成	
7	長野県UIJターン就業・創業移住支援事業 長野県地域課題解決型創業支援事業	25,489,994	本移住支援事業に基づく移住就業者数	2024	480	人	30	3	未達成	移住就業者については、マッチングサイトへの求人情報が、求職者ニーズに合わなかったため、目標を達成することができませんでした。今後は、マッチングサイトの求人掲載企業の職種を増やすため、経済団体や地域金融機関に対し、更なる周知協力を要請していきます。起業者数及び移住起業者については、制度の基準を満たす事業の応募が少なかったため目標を達成することができませんでした。採択事例を活用した事業報告会の開催や、説明会や伴走支援の充実等に取り組むことにより、申請数増加や事業内容の適正化を図っていきます。
			本移住支援事業に基づく移住起業者数	2024	18	人	3	0	未達成	
			本移住支援事業に基づく起業者数	2024	180	人	30	11	未達成	
			マッチングサイトに新たに掲載された求人数	2024	560	件	60	271	達成	
8	女性・シニア就業応援プロジェクト事業	36,001,267	本事業により新規就業が実現した者の数(新規就業者数)	2024	3,600	人	600	226	未達成	新規就業者数は、時間や場所による制約、離職からのブランクに対する不安などを十分取り除けず、目標は未達成となりました。短期インターンシップ参加者は、終了後正規雇用を条件にして実施したため、目標は未達成となりました。短期インターンシップは有効であることから、終了後の雇用条件の見直しも検討し、本事業による就業者数の増加を図っていきます。
			女性の短期インターンシップ参加者	2024	280	人	30	13	未達成	

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	最終年度(年)の目標			2019(R1)年度(年)の状況			今後の取組の方向性、 未達成の理由等
				年度 (年)	目標値	単位	目標値 (2019累計)	実績値	達成・ 未達成	
9	「発酵・長寿」食品製造業創生事業	32,811,626	新食品商品化	2020	60	品目	40	41	達成	長野県食品製造業振興ビジョンに基づき、新たな価値を創出するため、引き続き、高付加価値機能性食品開発を促進するとともに、研究開発プロジェクトによる新食品の創出を推進するほか、各種認証の取得支援に加え、機能性エビデンスを蓄積し、「発酵・長寿」ブランドの形成を図ります。
			食品製造業の製造品出荷額等	2020	360	億円	210	270	達成	
			観光消費額	2020	387.5	億円	298.5	1,676.0	達成	
			加工食品・農産物の輸出額	2020	17.5	億円	12.0	16.1	達成	
10	地方創生に向けた産業・地域を支える人づくり ～「学びの県」をめざして～	28,072,073	観光インターンシップ受入人数	2020	190	人	90	77	未達成	観光インターンシップについて、観光地と学生を結び付ける取組により、70名のインターンシップの受入れ(マッチング)を実施しましたが、令和元年台風災害等の影響によるインターンシップの中止があったことから目標値は未達成となりました。引き続き、コロナウイルスの感染状況に配慮しつつ、地域と大学とのマッチングを行い、インターンシップを推進していきます。 また、ものづくり産業及び地域を支える人づくりを進めるため、産学官連携による県民のライフステージに応じたキャリア教育や、地域課題の解決を導く中間支援人材の育成を実施するとともに、オンライン上の学習プラットフォームについて検討します。
			信州ものづくりマイスター等による講座受講者数	2020	270	人	180	196	達成	
			オンライン学習プラットフォームへの学びのコンテンツアップロード数	2020	100	件	0	0	達成	
			宿泊業、飲食サービス業における外国人労働者数	2020	200	人	100	529	達成	
11	信州医療機器事業化促進・グローバル展開事業	62,657,000	県内における医療機器(部材含む)生産金額	2020	5	億円	2.5	50	達成	長野県医療機器産業振興ビジョンに基づき、国内での新たな医療機器の開発・事業化と世界市場への医療機器部材の供給を促進するため、引き続き、各種専門人材による薬事・保険収載等に係る相談支援や、県内企業が保有する特色技術の大手医療機器メーカーへの提案支援など、各企業の開発・事業化ステージに応じた支援を実施します。
			医療機器産業への展開を図る県内企業等の数	2020	55	社	30	32	達成	
			医療機器製造販売業及び医療機器製造業の県内における許可件数	2020	15	件	10	4	実績値なし	
			交付対象事業を通じて支援した県内企業等の数	2020	40	件	20	30	達成	

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	最終年度(年)の目標			2019(R1)年度(年)の状況			今後の取組の方向性、 未達成の理由等
				年度 (年)	目標値	単位	目標値 (2019累計)	実績値	達成・ 未達成	
12	信州ナビによる周遊・滞在の促進プロジェクト ～信州の魅力を最大限活かした賑わい創出～	17,415,784	県内の延宿泊者数	2020	335	万人	295.0	6.0	未達成	延宿泊者数について、令和元年東日本台風のほか、冬期の雪不足等の影響により目標に達しませんでした。また、公共交通機関の利用者数は、沿線人口の減少等による利用者の減少の影響により、目標に達しませんでした。 一方で、「信州ナビ」の累計ダウンロード数は、SNS等を活用したPRにより目標値を上回り、目標を達成することが出来ました。 2020年度については、厳しい外的条件の中でも利用者を増やすため、信州ナビで集めた利用者属性や操作履歴などのデータを、わかりやすい形で整理・分析する機能を実装し、より効果的な施策を実施していきます。
			県内の観光消費額	2020	639	億円	298.0	1,676.0	達成	
			県内の公共交通機関(路線バス等を広域運行する交通事業者)利用者数	2020	21.1	千人	14.05	-132.3	未達成	
			県観光・交通案内アプリ「信州ナビ」の累計ダウンロード回数	2020	4.0	万回	2.3	4.1	達成	
13	商店街を核とした官民協働の信州ワーケーション事業	33,687,847	社会増(転入者数-転出者数)	2020	1,733.0	人	1,156	-1,798	未達成	ワーケーションの実施者数は目標を上回ったものの、まだまだワーケーションに対する全国的な認知は低く、その他の指標は目標を達成することができませんでした。 新型コロナウイルス感染症の影響でテレワークに注目が集まることを好機と捉え、ワークスタイルの変革による地域への訪問・滞在を活性化させ、ワーケーションを拡大するために、観光地のDMO等と連携しつつ、モデル地域を7市町村から12市町村に拡大し県内のワーケーション推進の取組を支援します。
			移住者数	2020	816	人	544	239	未達成	
			外国人延べ宿泊者数	2020	186.5	万人	124.4	29.0	未達成	
			ワーケーション実施者数	2020	400	人	160	264	達成	

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	最終年度(年)の目標			2019(R1)年度(年)の状況			今後の取組の方向性、 未達成の理由等
				年度 (年)	目標値	単位	目標値 (2019累計)	実績値	達成・ 未達成	
14	”世界が恋する、 NAGANOWINE”ブランドアッププロジェクト	23,934,000	県内のワイナリー数	2019	7	件	7	23	達成	NAGANO WINEのブランド化を図るため、栽培・醸造・プロモーション・観光等の各段階における支援を強化し、農業者、ワイナリー、関連産業事業者との連携を進めた結果、すべての目標を達成することができました。 2019年度で交付金事業としては終了しますが、引き続き、「信州ワインバレー構想」の推進に取り組みます。
			県内のワイン用ぶどう栽培面積	2019	33	ha	33	137	達成	
			国際ワインコンクールでの受賞数	2019	10	本	10	25	達成	
			観光消費額	2019	1,007	億円	1,007	2,158	達成	
15	プロフェッショナル人材戦略拠点事業	55,016,170	プロ人材戦略拠点によるプロ人材のコーディネート(民間人材会社への人材情報の提供)件数(累計)	2019	960	件	960	1,166	達成	引き続き金融機関、民間団体、民間ビジネス事業者と連携し、県内企業の求人ニーズの掘り起こしと首都圏等の求職者等とのマッチングに取り組みます。
			連携する民間人材会社による求人ニーズと求職者のマッチングの成約件数(累計)	2019	115	件	115	292	達成	
16	世界水準の山岳高原観光地域づくり	115,223,876	観光消費額	2019	1,007	億円	1,007	2,158	達成	延宿泊者数及び外国人宿泊者数については、令和元年東日本台風のほか、近年顕著な夏期の豪雨・酷暑、冬期の雪不足等の影響により、目標に達しませんでした。 また、中部国際空港から白馬地域へのバス利用外国人旅行者数については、運行本数・乗車人数ともに急増したものの、本格的な自律運行まで時間を要したこともあり、目標に達しませんでした。 2019年度で交付金事業としては終了しますが、引き続き、山岳リゾートとしての長野県の優位性を活かした「稼ぐ」観光地域づくりをより一層推進するため、広域型DMOの形成・取組支援、旅行者のニーズに合わせた戦略的な情報発信、魅力的な旅行商品造成支援等に取り組みます。
			延宿泊者数	2019	274	万人	274	4	未達成	
			外国人延宿泊者数	2019	83.5	万人	83.5	41.3	未達成	
			中部国際空港から直行シャトルバスにより白馬地域を訪れた外国人旅行者数	2019	1,584	人	1,584	1,091	未達成	

No	交付対象事業の 名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	最終年度(年)の目標			2019(R1)年度(年)の状況			今後の取組の方向性、 未達成の理由等
				年度 (年)	目標値	単位	目標値 (2019累計)	実績値	達成 ・ 未達成	
17	航空機産業集積化による地域イノベーションの創出	62,784,000	航空機産業に取り組む県内企業	2020	60	社	45	49	達成	長野県航空機産業振興ビジョンに基づき、アジアの航空機システム拠点の形成を目指し、引き続き、支援体制の整備を進め、人材育成や研究開発を支援するなど、県内航空機産業の振興に取り組めます。
			大学・企業等誘致	2020	5	件	3	8	達成	
			航空機産業分野の売り上げ高	2020	4.0	%	2.8	34.0	達成	

区分	件数	構成比
達成	34	59.6
未達成	23	40.4
実績値なし	3	—
合計	60	100

※構成比は実績値が把握できる指標に占める割合です

地方創生関連交付金事業の実施結果

(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

目標値 ≤ 実績値 ……「達成」
 目標値 > 実績値 ……「未達成」
 ※2019年度末までの累計

○地方創生拠点整備交付金

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	最終年度(年)の目標			2019(R1)年度(年)の状況			今後の取組の方向性、 未達成の理由等
				年度	目標値	単位	目標値 (2019累計)	実績値	達成・ 未達成	
1	環境・情報技術部門 生産性革命支援事業	350,015,364	生産現場のAI-IoT化による生産性向上に関する研究数	2022	40	件	10	11	達成	2019年4月に稼働を開始したAI活用/IoTデバイス事業化・開発センターを活用し、引き続き、AI及びIoTに関する企業との共同研究、企業現場における省エネ改善支援、3Dプリンタによる加工工程改善の支援などに取り組み、生産現場におけるAI・IoTの普及等を推進していきます。
			IoT機器等を活用した生産現場のエネルギー使用や工程改善件数	2022	80	件	20	29	達成	
			3Dプリンタを活用した加工工程の改善件数	2022	600	件	150	345	達成	
2	食品技術部門生産性 革命支援事業	271,532,520	サプリメント等、新しい機能性食品の開発品目	2022	100	品目	25	27	達成	2019年4月に稼働を開始したしあわせ信州食品開発センター機能性食品等開発拠点棟を活用し、引き続き、イノベーションルーム利用による新製品開発支援、試作加工室利用による製造販売支援、評価装置を活用した品質向上支援などに取り組み、新たな商品開発等を推進していきます。
			食品製造業の製造品出荷額等	2022	660	億円	150	0	実績値なし	
			食品の試験・分析・研究に係る機器利用及び依頼試験件数	2022	300	件	75	1,136	達成	
3	農林水産業関係試験 場研究力強化事業 (農業試験場、果樹 試験場)	369,226,000	農業の単位面積当たり生産性	2020	6	万円/ha	5	14	達成	県のオリジナル品種の開発として、リンゴでは育種ラボに設置された高品位青果物分析装置等を駆使し、商品性が高く貯蔵性に優れる品種や新たな需要創出に寄与できる赤果肉品種等の育成に向けた選抜を進め、赤果肉りんご品種「りんご長果34」を開発しました。今後は、ブドウにおいて環境制御施設を駆使し、皮ごと食べられる等消費者ニーズに対応した品種育成に向けた選抜を進めるとともに、温暖化に起因する各種果実・樹体障害への対応技術を開発します。
			観光消費額	2020	1,276	億円	1,047	2,158	達成	
			新たに開発するぶどう・りんごのオリジナル品種の数	2020	2	系統	0	1	達成	
4	100年カラマツの利用 技術開発事業	307,980,700	開発した、梁・桁製品利用の売上金額	2020	84,000	千円	36,000	0	実績値なし	県内の木質バイオマス発電所の稼働が当初予定より5年遅れ(2015→2020年稼働)た事もあり、想定した素材生産が行われず目標値を達成することができませんでした。2018年度以降、新たな試験研究施設を利用し、スギ・カラマツで6種類の新製品開発を実施し、目標を達成しました。今後は、販売等を推進して参ります。
			大径カラマツ材等の梁・桁6タイプの新製品化数	2020	6	種類	4	6	達成	
			施設整備を契機とした、大径材を含む素材生産量	2020	249	千m ³	199	39	実績値なし	

No	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	最終年度(年)の目標			2019(R1)年度(年)の状況			今後の取組の方向性、 未達成の理由等
				年度	目標値	単位	目標値 (2019累計)	実績値	達成・ 未達成	
5	農林水産業関係試験場研究力強化事業 (農業試験場八重森ほ場)	18,324,000	農業の単位面積当たり生産性	2020	6	万円/ha	5	14	達成	長野県のオリジナル品種の水稻の開発を推進するため、気象・水利自動制御水田試験施設等を活用し、引き続き、2020年度の新品種開発に向け、高温登熟性に優れた系統から良食味系統の選抜を進めます。
			観光消費額	2020	1,276	億円	1,047	2,158	達成	
			新しく開発する水稻の新品種 (2020年に1品種、2系統)	2020	1	品種	0	0	達成	
6	農林水産業関係試験場研究力強化事業 (野菜花き試験場)	51,795,000	農業の単位面積当たり生産性	2020	6	万円/ha	5	14	達成	県内農業の技術向上を図るため、引き続き、以下の3点に取り組みます。 ・環境制御技術を駆使し、気象変動の影響を受けにくいトルコギキョウ等の生育・品質制御技術を開発します。 ・2020年度の品種・系統開発に向け、盛夏期に収穫・出荷する作型に適したレタス系統を選抜します。 ・施設園芸における捕食性天敵による微小害虫の防除技術を開発します。
			観光消費額	2020	1,276	億円	1,047	2,158	達成	
			レタスのオリジナル新品種・ 系統の開発 (2020年に2系統)	2020	2	系統	0	0	達成	
7	農林水産業関係試験場研究力強化事業 (畜産試験場)	190,812,000	農業の単位面積当たり生産性	2020	6	万円/ha	5	14	達成	県内農業の生産向上を図るため、引き続き、2020年度に品種・系統の開発に向け、従来より増体に優れ、出荷日齢を短縮できる良食味のオリジナル地鶏の作出に取り組みます。
			観光消費額	2020	1,276	億円	1,047	2,158	達成	
			新たな地鶏品種 (2020年に1品種、1系統)	2020	1	系統	0	0	達成	
8	農林水産業関係試験場研究力強化事業 (南信農業試験場)	14,795,000	農業の単位面積当たり生産性	2020	6	万円/ha	5	14	達成	県内農業の生産向上を図るため、果実貯蔵性検定施設等を活用し、引き続き、2020年度の品種開発に向け、耐病性・貯蔵性に優れ、本県に適する優良日本なし系統の選抜に取り組みます。
			観光消費額	2020	1,276	億円	1,047	2,158	達成	
			新たに開発する日本なしのオリジナル品種 (2020年に1品種)	2020	1	系統	0	0	達成	
9	農林水産業関係試験場研究力強化事業 (水産試験場本場)	45,388,785	農業の単位面積当たり生産性	2020	6	万円/ha	5	14	達成	県内農業の生産性の向上を図るため、今回整備した飼育施設を活用し、引き続き、2020年度の品種開発に向け、耐病性や高成長性を備えた付加価値の高いマス新品種開発に取り組みます。
			観光消費額	2020	1,276	億円	1,047	2,158	達成	
			耐病性や高成長性を備えたマス類の開発 (2020年に1品種)	2020	1	系統	0	0	達成	
10	農林水産業関係試験場研究力強化事業 (水産試験場押野試験池)	30,485,560	農業の単位面積当たり生産性	2020	6	万円/ha	5	14	達成	2016年度事業を2017年度に繰り越したことにより、施設の竣工が計画より1年遅れ2017年度となりました。2018年度から本格稼働し、種苗供給4万尾増産に向けて取り組んだことにより、2019年度は目標を達成しました。 引き続き、需要に見合った生産ができるよう、計画的な種苗供給を進めます。
			観光消費額	2020	1,276	億円	1,047	2,158	達成	
			種苗供給量の増加	2020	4	万尾	4	5	達成	

No	交付対象事業の 名称	実績額 単位:円	重要業績評価指標 (KPI)	最終年度(年)の目標			2019(R1)年度(年)の状況			今後の取組の方向性、 未達成の理由等
				年度	目標値	単位	目標値 (2019累計)	実績値	達成・ 未達成	
11	農林水産業関係試験 場研究力強化事業 (水産試験場木曾試験地)	10,805,591	農業の単位面積当たり生産性	2020	6	万円/ha	5	14	達成	2016年度事業を2017年度に繰り越したことにより、施設の竣工が計画より1年遅れ2017年度となりました。2018年度から本格稼働し、種苗供給3万尾増産に向けて取り組んだことにより、2019年度は目標を達成しました。 引き続き、需要に見合った生産ができるよう、計画的な種苗供給を進めます。
			観光消費額	2020	1,276	億円	1,047	2,158	達成	
			種苗供給量の増加	2020	3	万尾	3	4	達成	
12	農林水産業関係試験 場研究力強化事業 (林業総合センター)	9,665,200	松くい虫抵抗性マツタケ菌発生苗木の販売	2020	3,600	千円	0	0	達成	2019年度は9月から10月初めの異常な少雨という、全国的な天候不順により、マツタケ生産量は減少し目標値を達成することができませんでした。 マツタケ発生は天候条件やアカマツ林の老齢状況に左右されるものの、今回整備したマツタケ菌感染苗木の増設施設を活用し、苗木の増設技術開発を推進し生産振興を図り、林内での安定的なマツタケ生産に取り組めます。
			観光消費額	2020	1,047	億円	1,047	2,158	達成	
			マツタケ生産量	2020	19.8	トン	17.8	-23.3	未達成	

KPIの達成状況

区分	件数	構成比
達成	32	97.0
未達成	1	3.0
実績値なし	3	—
合計	36	100

※構成比は実績値が把握できる指標に占める割合です

Ⅷ. まち・ひと・しごと創生寄附

(企業版ふるさと納税) 活用事業の実施経過

まち・ひと・しごと創生寄附(企業版ふるさと納税)活用事業の実施結果 (各事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

活用事業の名称	事業概要	2019(R1)事業費 (うち寄附受領 実績額)	寄附者 実績数	重要業績評価指標 (KPI)	直近の状況			今後の取組の方向性、理由等
					目標値	実績値	達成・未達成 (事業評価指数)	
自然公園グレードアップ 構想	多様な利用者が自然公園の美しい風景と自然を快適に楽しめるよう、登山道・遊歩道等の整備を実施	5,882,738円 (5,882,738円)	3者	自然公園利用者数 (延べ)	3,649万人 (2018)	3,707万人 (2018)	達成 (1.02)	自然環境を保全し、多様な利用者が求める自然公園の魅力を確保するため、引き続き登山道整備補助等を行う。 ※2019実績は2020年11月集計

目標値 ≤ 実績値 (事業評価指数 ≥ 1) ……「達成」
 目標値 > 実績値 (事業評価指数 < 1) ……「未達成」
 事業評価指数 …… 実績値 / 目標値